

医療保健子ども福祉病院常任委員会関係

受理 番号	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 ・ 紹 介 議 員	提出された 定例会・会議
請 4	<p>(件 名) 健康保険証廃止の中止を求めることについて</p> <p>(請願趣旨) マイナンバーカードをめぐる問題が続出するなか、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律案が令和5年6月2日の参議院本会議で可決、成立した。 マイナンバーカードの取得は任意とされてきたにもかかわらず、健康保険証と一体化させることによって、マイナンバーカードの利用を国民に強制することにつながる重大な方針転換であるが、十分な審議が尽くされたとはいえない。 法案の可決後も、マイナンバーカードの誤交付や別人へのひも付けなどの誤登録、医療機関に設置されているオンライン資格確認等システム機器のトラブルなど、生命や個人情報に関わる問題が連日のように報道されている。 国会審議を通じて、障がい者、認知症の方や高齢者など、社会的弱者とされる人たちが、マイナンバーカードの手続、取得、管理ができず、制度的に健康保険証を持っていない人にされかねない重大問題が次々と明らかになっている。障がい者のマイナンバーカードの取得をめぐるっては、申請した際に、背後に車椅子のヘッドレストが写っていたので却下された、病気のため黒目が無い人でも黒目が写っていないので却下されたなどの事例が報告されている。</p>	<p>津市柳山津興1535-23 三重県社会保障推進協議会 会長 林 友信</p> <p>(紹介議員) 吉田 紋華 稲森 稔尚</p>	5年・9月

受理 番号	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 ・ 紹 介 議 員	提出された 定例会・会議
	<p>健康保険証廃止に対する反対の世論が高まるなか、新聞各紙も社説等で、健康保険証廃止、見直しは今からでも遅くないなど、政府の強引なやり方を批判している。7月の世論調査では、延期や撤回を求める声が7割以上となっていることが報道されている。患者や国民は健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一体化することを求めている。</p> <p>健康保険証を廃止すれば、膨大な数の健康保険証を持ってない人が生まれ、保険料を払っていても保険診療を受けられない人が続出することになり、国民皆保険制度の根幹を破壊する重大問題に発展しかねない。政府の冷静な判断が求められている。</p> <p>以上の趣旨から、次の事項について、地方自治法第99条の規定による意見書を国に対し提出するよう請願する。</p> <p>(請願項目)</p> <p>1 健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化は中止を含め見直すこと。</p>		

医療保健子ども福祉病院常任委員会関係

受理 番号	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 ・ 紹 介 議 員	提出された 定例会・会議
請 5	<p>(件 名) 医療・介護報酬の臨時改定を行い医療・介護・福祉で働くすべてのケア労働者の処遇改善を求める意見書について</p> <p>(請願趣旨) 政府は、看護師や介護職など社会基盤を支える労働者が、その役割の重要性に比して賃金水準が低い状況であるとし、ケア労働者の賃上げ補助として、2022年10月から診療報酬と介護報酬の臨時改定を行い、「看護職員処遇改善評価料」と「介護職員等ベースアップ等支援加算」を新設した。 4年目に突入したコロナ禍において、自らの感染リスクや様々な行動制限に耐え、必死に国民のいのちと健康をまもるために奮闘してきたケア労働者に対し、賃上げの補助を行った政府の姿勢については一定の評価をするものである。 しかし賃上げ対象を限定してしまったため、本来、チームワークが強く求められる医療現場や介護現場に差別が持ち込まれ、不団結を生み出している。とりわけ、「看護職員処遇改善評価料」においては、就労看護師166万人の35%程度である57万人しか対象にならず、施設数で見れば、17万8千余りある医療施設のうち、対象は2720施設とわずか1.5%程度となっている。 コロナ禍において国民のいのちと健康を守るために必死に奮闘してきたのは、一部の医療機関や一部のケア労働者だけではない。 国民のいのちと健康を守るための、医療・介護・福祉などケア労働者の賃金は、もともと全産業平均の所定内賃金よりも低い水準に置かれており、現在の診療報酬・介護報酬の水準では、ベースアップもままならず、医療・介護・福祉現場の人手不足もきわめて深刻となり、事業の継続そのものを脅かしている。</p>	<p>津市船頭町津興1535-23 三重県医療労働組合連合会 委員長 藤井 新一</p> <p>(紹介議員) 吉田 紋華 稲森 稔尚</p>	5年・9月

受理 番号	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 ・ 紹 介 議 員	提出された 定例会・会議
	<p>さらに、昨今の異常な物価高騰も、医療・介護・福祉の事業に深刻な打撃を与えており、医療機関、介護・福祉施設への経済的支援は、通常報酬改定を待つことができない待ったなしの切実な要求となっている。</p> <p>私たちは、改めて政府の責任ですべてのケア労働者の処遇改善と人員増が図られ、医療・介護・福祉事業の安定的な維持発展のために、以下の項目について政府に対する意見書の提出を求めて請願する。</p> <p>(請願項目)</p> <p>一、医療や介護・福祉の現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増につながるよう、緊急に診療報酬と介護報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。</p> <p>一、すべての医療機関や介護・福祉施設に行き渡る緊急の物価高騰支援策を拡充すること。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

医療保健子ども福祉病院常任委員会関係

受理 番号	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 ・ 紹 介 議 員	提出された 定例会・会議
請 6	<p>(件 名) 上げ馬神事における動物虐待の根絶を求めることについて</p> <p>(要 旨) 昨今「上げ馬は馬を虐待しているように見える」という抗議の声が国内外で広がっていることから、その社会通念を反映して、上げ馬神事から動物虐待を根絶させることが必要だと思われる。 国際社会に認められる三重県無形民俗文化財として次世代に継承していくために、事故の危険性のある坂と壁に馬を駆け上がらせないことが求められており、前例踏襲にとらわれず上げ馬の解釈を見直す時がきている。 動物福祉を重んじる現代の倫理観を取り入れ、馬を神の使いとして祀る多度大社に相応しい神事として、練り歩きやお供馬などの「奉納」という本来の形に戻されることを求める。 三重県は多度大社がこれ以上動物虐待を繰り返すことのないよう、法令に基づき真摯にご対応いただくよう請願する。</p> <p>(理 由) 馬は骨折すれば殺処分となることを理解したうえで、負傷する危険性のある坂と壁を駆け上がらせることは「わざと（みだりに）馬を傷つけようと思って行ってはいないが、骨折しても仕方がない」という暗黙の了解のもとで行っているも同然だと考える。</p>	<p>多度大社の上げ馬廃止を求めるOne Team 富森 美保美</p> <p>(紹介議員) 吉田 紋華 稲森 稔尚</p>	<p>5年・9月</p>

受理 番号	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 ・ 紹 介 議 員	提出された 定例会・会議
	<p>「身体に外傷が生ずるおそれのある行為をさせ酷使すること」は、環境省《動物愛護管理法第44条2項》に抵触する虐待事案であり、環境省《動物虐待等に関する対応ガイドライン第1章4項》に記された「愛護動物虐待罪」に該当する可能性もある。（※別紙1）</p> <p>今年6月には国会の場でも、参議院農林水産委員会にて「たとえ神事など正当な目的があったとしても、行事の手段や態様が社会通念上容認される範囲を超える場合は動物殺傷、虐待罪が成立する可能性がある」と答弁されている。</p> <p>オンライン署名には、日本のみならず海外からも数多くの賛同をいただき、上げ馬 One Teamには20,917筆もの署名と474件のコメントが集まった。この反響は、上げ馬が客観的に社会通念上許容される範囲を超えていることを十分に物語っている。</p> <p>地域に愛され続ける伝統や文化を守るためには、動物についても命あるものとして敬う気持ちを持ち、動物虐待を根絶するべく誠実かつ迅速に、時流の変化に適応していくことが最も大切なことであるとの考えに至り、請願する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p>（別紙1 略）</p>		

令和5年第2回定例会9月定例会月会議 請願文書表（新規分）正誤表

（新8頁）

医療保健子ども福祉病院常任委員会関係
受理番号請4「提出者・紹介議員」中

正

津市船頭町津興 1535-23

誤

津市柳山津興 1535-23